

案件数は増加傾向だが、単価は低水準 翌期稼働にむけたIT投資判断が進む

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

年末が近づいてきたせいか、12月後半では目立った動きの変化は見られず、12月前半の傾向がそのまま続いているようです。

12月に入り徐々にIT投資の決定を行う企業が増えてきています。翌年4月稼働などを目指して、これまで数ヶ月検討していたシステムの投資を決定している企業が出てきたためではないかと思えます。また、このように日本では4月からのシステム稼働を目指すケースが多いため、毎年12月から3月の時期は4月稼働のシステム開発案件の繁忙期にあたり、案件数が増加します。今年もこの傾向が見られ、12月に入ってシステム開発の案件数は増加しています。しかし今年の特徴としては、契約期間が1ヵ月（長くても2ヵ月）という短期間になっていることが挙げられます。先行きが不透明な経済環境が続いておりプロジェクトが中断という可能性もあるため、契約期間を短めにしているのではないかと想像されます。

またエンジニアの単価については、案件数の増加が単価の上昇には反映されず、低水準のまま推移しています（昨年比2割減程度）。これはシステム業界全体として需給バランスが崩れたままであることが影響しているものと考えられます。また最近では最初から高い稼働が求められる案件が多いようです。これは以前と比べてプロジェクトの予算が削減されているために、プロジェクトに参画しているメンバーが少人数にならざるを得なくなり、そのメンバーが高い稼働で業務を行っている状況が読み取れます。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp